

蔵増北青壮年会だより
発行 第46号
平成18年12月20日

そうねん



発行人会長 秋保 栄
編集委員長 後藤 賢次
編 集 機関紙編集委員会

ありがとう「そうねんだより」発行 20年



Photo これからは「気軽に集まって」がキーワード。人気のビアパーティー H18.8.5

創ろう みんなが集う 青壮年会

《会員アンケート調査を実施》

特集記事 2~5 ページに掲載

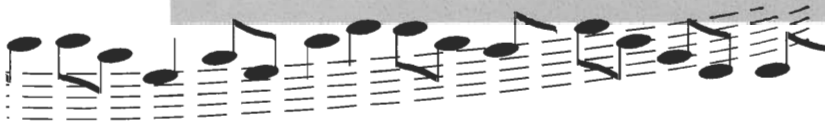
「そうねん」は、会の地域活動を広くお知らせし、事業の充実と、人との交流を促進する橋渡し役になるよう昭和六十一年五月に創刊し、今年、満二十歳になりました。

創刊早々、アンケート調査を実施し、その取り組みは、多くの部活動設立のきっかけになったり、交流の促進につながりました。

いま、多種多様な社会感が持たれる時代となり、このたび原点に戻り、「みんなが集う青壮年会に向けて」のアンケート調査を実施しました。

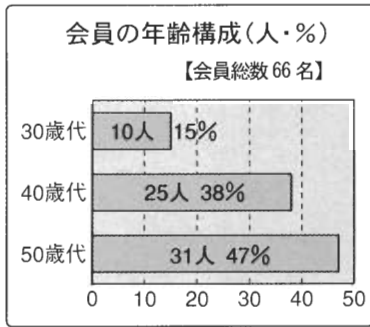
その結果は、会のあり方や方向性を示唆するものが多く、貴重なこれらの声をヒントにし、これからの事業に活かしていきたいと思えます。御協力くださいました皆様に深く感謝を申し上げます。

会長 秋保 栄



北青壮年会

平成 18 年 5 月 28 日 ~ 6 月 11 日



現在の全会員の年齢構成を見ると、左の表のとおり

働き盛りが中心

50歳代に大別し、傾向を見てもみました。

調査は、会員 66 名全員を対象に行い、回収数は 39 名、回収率は平均で 59% とやや低調でしたが、30 歳代、40 歳代については 83% と高く、これらの会員の大方

アンケート分析にあたって

アンケート回答者【回収率 59%】

30歳代	9人 (会体数 10人)
40歳代	20人 (会体数 25人)
50歳代	10人 (会体数 31人)
計	39人 (会体数 66人)

表紙に記載しましたように、北青壮年会のこれからのあり方を探るために、会員の考え方、意見を寄せていただくアンケート調査「みんなが集う青壮年会に向けて」を実施しました。この調査は、昭和六十一年以来、二十年振りの取り組みでありまして、あらためて寄せられました貴重なメッセージを有効に活かしていきたいと思っております。

30歳代が 10 名（全体の 15%）、40歳代が 25 名（同 38%）、50歳代は 31 名（同 47%）という構成になっております。

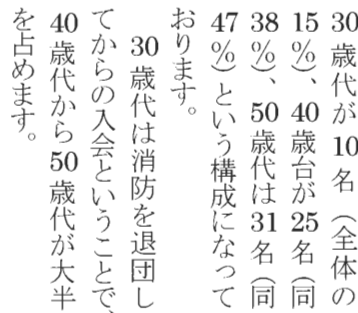
30歳代は消防を退団してからの入会ということで、40歳代から 50歳代が大半を占めます。

今から約二十年前、本会で定年制が検討された頃、50歳ぐらいで退会を希望する方が多いようでしたが、現在は、50歳過ぎてても活動に積極的に参加して下さる方が多くなり、「地域活動に年齢はない」という思いが感じられます。

また、途中で退会する方も一部見られ、「青壮年会活動や地域活動への参加のあり方、奉仕活動についての価値観」など、対話を深めていく必要があると思っております。

大切な事業は「盆踊り大会運営」

問1、本会で最も大切なと思う事業は(%) 3つ選択



「盆踊り大会運営」で 69%、2番が「部活動」、3番が「そうねんの発行」でした。

「盆踊り大会」については、30歳代の 67%、40歳代の 80%の人が大切だと考えております。

一方、50歳代は「部活動」が 1番で 80%。次に、「そうねん」の発行、その次にビアパーティーなどの交流」が大切だと感じております。

また、全世代で、「堀端公園の草刈り作業奉仕」が上位に挙げられ、ボランティア

「盆踊り大会」については、30歳代の 67%、40歳代の 80%の人が大切だと考えております。

一方、50歳代は「部活動」が 1番で 80%。次に、「そうねん」の発行、その次にビアパーティーなどの交流」が大切だと感じております。

また、全世代で、「堀端公園の草刈り作業奉仕」が上位に挙げられ、ボランティア

「盆踊り大会運営」で 69%、2番が「部活動」、3番が「そうねんの発行」でした。

「盆踊り大会」については、30歳代の 67%、40歳代の 80%の人が大切だと考えております。

一方、50歳代は「部活動」が 1番で 80%。次に、「そうねん」の発行、その次にビアパーティーなどの交流」が大切だと感じております。

また、全世代で、「堀端公園の草刈り作業奉仕」が上位に挙げられ、ボランティア

「盆踊り大会運営」で 69%、2番が「部活動」、3番が「そうねんの発行」でした。

「盆踊り大会」については、30歳代の 67%、40歳代の 80%の人が大切だと考えております。

一方、50歳代は「部活動」が 1番で 80%。次に、「そうねん」の発行、その次にビアパーティーなどの交流」が大切だと感じております。

また、全世代で、「堀端公園の草刈り作業奉仕」が上位に挙げられ、ボランティア

大切な事業は「盆踊り大会運営」

問1、本会で最も大切なと思う事業は(%) 3つ選択

「盆踊り大会運営」で 69%、2番が「部活動」、3番が「そうねんの発行」でした。

「盆踊り大会」については、30歳代の 67%、40歳代の 80%の人が大切だと考えております。

一方、50歳代は「部活動」が 1番で 80%。次に、「そうねん」の発行、その次にビアパーティーなどの交流」が大切だと感じております。

また、全世代で、「堀端公園の草刈り作業奉仕」が上位に挙げられ、ボランティア

※アンケートは全部で 12 項目を行い、本紙では要点を掲載しました。



創ろう みんなが集う

アンケート調査を実施

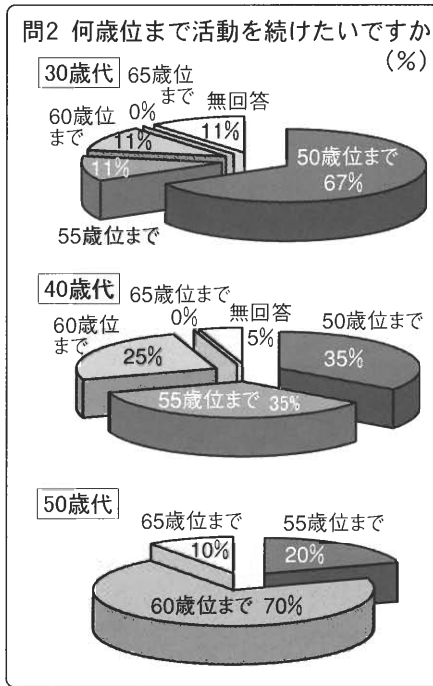


部活動 高い入部率

下の表、「部活の入部状況」については、年度始めに全会員から提出される「部活動入部届け」に基づき区分してみました。その結果、「30歳代の入部率は40%」、「40歳代は60%」、「50歳代は81%」となっております。年代が上がるにつれ入部率は高くなっており、

の高まりや、これからは地域とともに、という思いが感じられます。

部活に入っている理由を問いかけたところ、「懇親会（飲み会）や交流が楽しいから」がダントツ1番。2番目は「趣味を通じて楽しいから」でした。40歳代、50歳代の会員は、「趣味⇨交流⇨生きが



部活動の入部状況

《平成18年度申込みより》

30歳代	10人中4人	(40%)
40歳代	25人中15人	(60%)
50歳代	31人中25人	(81%)
計	66人中44人	(67%)

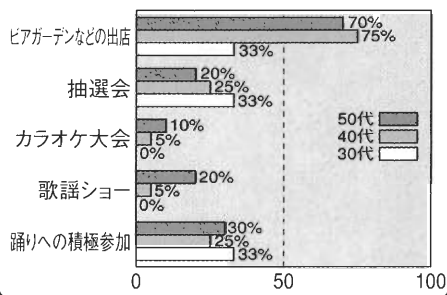
いと感じて活動を続けているようです。

比較若い会員の中には部活に入っていないも「とりあえず」と言う方もおり、消極的な傾向も見られます。いかに部活動を通して新しい仲間を迎え入れ、交流を図ることができるか、各部の役員にその努力も求められる課題であります。

これからは、 交流・親睦・ ボランティア事業を

「これから取り組んでほしい事業」についての問いには、ここでも「会員の交流、親睦事業」がトップで69%でした。次に「ボランティア活動」が23%で入っ

問3 盆踊り大会を盛り上げるには(%)



盆踊り大会 を盛り上げる ためには

っており、地域のために何か役に立ちたいという貴重な意思が現れております。これから大事に育んでいきたいと考えております。



会員が思う、最も大切な事業は「盆踊り大会運営」でした。地域のために役立ちたい、そういう気持ちの現れでは…

先の問題1では「盆踊り大会運営が最も大切な事業」との回答が得られました。問3では「それを盛り上げるためには何が必要か」と問いかけたところ、3世

代いづれも「ビアガーデンなどの出店」が1番でした。このことについては、いち早く実行に移すため、今年の盆踊り大会運営にあたり、早速北公民館や婦人会など各種団体と話し合いをさせていただきました。その取り組みの詳細な経緯は、本紙10ページ目に記載しております。2番目に必要なことは、「踊りへの積極的参加」でした。こうした声は前々から根強くありました。でも今年、例年以上に多くの



来年は、ご家族同伴で、無理のないウォーキングなどいかがですか、

方々から踊りに参加していただき、華やかだった印象を持っております。これからも、地域の皆さんの御協力よろしくお願ひします。

**楽しみにしている
「そうねん」の記事は**

この問いには、「この人」「近所のニュース」「スナップ写真」、「部活動・ニューフェイス」の順に続いております。隣り近所、誰がどういふ人か分からない、

**地域に戻ったら
仲間がいる**

▷アンケート自由記載欄◁

事業の幅が広がりにくいのは、目的精査、整備などが必要な時期と思う。
▼盆踊りそのものが時代遅れ (30歳代)

という人間関係ではなく、近くの人を知り、お互いを理解し合う、そういった役割を果たしているのかなと感じております。

れ。無理やり踊らされている感じ。日曜日の総会、午後から酒を飲む気になれない。酔ってから片付ける気にもなれない。出席はとてもしたい。(30歳代)
▼奥山正勇さんが会長だった頃、「会社を定年になって地域に戻って見たら、誰も仲間がいないなんて寂しいのでは」と話した言葉が印象的。幼いころ遊んだ仲間と青年会で再び出会い、後半生を付き合っていることに会の意義があるのでは。(40歳代)
▼盆踊り大会は土曜日に設定。終了後に盛大に慰労会を行う。(40歳代)
▼「そうねん」だよりスタッフの皆さん毎回ご苦勞様今後よろしく。(40歳代)
▼編集委員が特定されているため片寄りがちだ。役員だけが地域の中で頑張っているように思われる。個人情報もあるのではかの地区まで広報する必要はないと思う。(40歳代)
▼盆踊り大会で隣組単位の懇親会、交流会を行って盛り上げる。(40歳代)

り上げる。(40歳代)
▼30代の会員の参加を促してほしい。(50歳代)
▼新しい部として野菜塾を。共同で野菜をつくり収穫祭を楽しむ。冬は料理部。部活動をもっと活発にしてほしい。(50歳代)

**アンケート
座談会より**
編集委員会で分析・検討

新たな取り組みを

(編集長) 今回のアンケート結果についてお気づきの点をお話いただきたい。
(T1) ワースト1はボウリング大会。代案として会員の家族も一緒に「もみじ狩り」温泉入浴「懇親会」を企画したらどうか。
もう一つ、「そうねん」の編集会議の際、希望者に参加していただき意見を聴くとか、紙面に会員や家族の声を載せるコーナーを設けてはどうか。

(T2) 事業の見直しが必要な時期にきている。新しい事業を考えてはどうか。
(A) 新春将棋大会の参加も少ない気がする。
(M) でも、少ない項目の人氣がないとは必ずしも言い切れない。少数部分は趣味の多様化や、アンケートの選択肢の少なさが原因になっていると思う。
(Y) 今の行事を継続することも大事だと思うんですけどね。この話し合いも、できたら役員だけでなく一般の人も入れた方がより良かったなと思う。

(編集長) 会全体の事業は年に一、二回。だから負担というものをあまり感じない人もいると思う。あんまり事業がいっぱいあると、負担に感じるかも。そういう意味で人氣があるのは、ビアパーティーだな。予約無しで、飛び込みで参加して加減してくれるもんね。



人気薄のボウリング大会

(A) ボウリング大会は、平成4年に誰でも参加できるようにと始められたものですが、最初は家族連れなどで40名近くの参加者があつた。15年経って今年は14名の予定と聞いている。時代や世代が変化しているなど感じている。

(T2) 思い切って来年から中止してはどうかな。

参加率を高めるには

(Y) 参加率を高めるには、出欠を役員が直前に再度確認する必要があると思う。

(A) 昔は、行事ある度に先輩が玄關まで迎えに来てくれた。これはフツウのことと思われるけど、実はこの声掛け運動は本当に大事な意味を持っていると思っている。

いま、案内は全て文書で出されていますよね。昔は、訪問や電話連絡が多かった。役員と会員の会話が少なくなってきたのも関係していないのかなあと思う。

部活頼みの活性化は時代遅れ?

(S) 元々この会は趣味の会がまとまって発足したものですよね。いま、若い人たちが楽しめる部がないんだと思う。

(編集長) 部活に入ると拘束されてしまうと思ってる人が多いんじゃないのかな。部費を毎月集めているのは書道部(授業料)ぐらいいじゃない?。ほかの部は負担ないんだけどなあ。

(A) 若い世代から部活に入ってもらうのは容易じゃないと思う。願わくば、そういう世代のリーダーシップを執れる人材が早く出てきてもらいたい、そう期待しているんだけど。

気軽なウォーキングなにかどう?

(編集長) さつきあつたように、野山を歩こう会で軽い平らなコースのウォーキングと、温泉、懇親会の企画をしてきたらどうかかな

(A) 野山会に全部お願い

気軽な懇親会を

(I) 酒を肴に、わいわいと騒げる行事がいいなあ。今年公園でやったビアパーティは参加者も多く開放感があつて良かったなあ。

(編集長) 会合で飲む時は会費制でやっているけど、飲み会が一番多いのは役員だな(笑)。やっぱり、打ち合わせや話し合いの機会が結構多いもの。

(S) 青壮年会費だけ払って事業に参加する機会が少ない人に対しては、色んな催しを企画して、気軽に参加できる場を用意しなくてはならないと思う。

高いボランティア意識

(A) アンケート調査をやつて良かったなあと思うのは、会の一番大切な事業と

して「盆踊り大会運営」や「堀端公園の草刈り作業奉仕」などが上がつており、高いボランティア意識と、地域を大切にしている気持ちは多くの会員が持つていてくれているんだなあと感じています。すごく嬉しい結果です。

(T3) 雪はきのボランティアアなんだけど、昨年一人暮らし老人宅で実施されていると聞いている。これからは、そうした奉仕活動も考えていく必要があるのでは。

(編集長) 事故とか、その際の保険とか、干布青壮年会でもそういうことが実際に起きて、難しい場面もあつたと聞いている。

(A) 北区では、区長さんが老人世帯の雪はきを手伝つてくださっているって聞いたことがある。青壮年会でも、無理の入らない、できる範囲のものを、みんなで作っていく必要があると思う。

地域を愛する気持ちそれが最大の収穫

皆さんの意見を集約すると、いまの事業を見直し、新たな時代に沿った事業を考えなければならぬということだと思えます。

また、地域を愛する、地域に奉仕する気持ちを、ほとんどの会員が持つていているということを理解することができ、今回のアンケートを通して、それが何よりもの収穫だったと思います。

アンケートに寄せられた、皆さん方の意見を今後に活かしていきたいと思えます。

(編集委員長 後藤賢次)



アンケート企画から考察まで担当してくれた編集委員のみなさん、ごろうさまでした。(座談会1118.11.22)

(座談会記事まとめ 編集常任委員 森山美典)

9年男

新年の夢

とい)年

新年にあたっての抱負

北二区 野口 幸喜

(昭和34年生まれ)



私が青壮年会にお世話になって、早くも二十年になります。今年、年男になる年令になっていたことも忘れていました。

今年二十二歳になる子を筆頭に三人の子ども達も、社会人、大学生、高校生と

それぞれの道を歩み始めて手がかからなくなつた分、ホッと一段落といった感じですが、まだまださうも言つてられません。

この子達のために、一日一日健康で、共に歩んでいってやれるように、はつらつとしていたいと思います。そして、お父さんまだまだ「がんばるから」と約束したいと思っています。



『マイペース』

北二区 墨沼 正則
(昭和34年生まれ)

先日、原稿依頼を受けたとき「なんで俺に？」あちやー、すっかり忘れてた自分の年齢と干支。もう4回目の年男。

振り返れば、『1回目 十二歳、小学校

6年生』親父が亡くなり1年目、たぶんめげずに鼻水たらして遊んでた。

『2回目二十四歳』バレーと彼女(たぶんかあちゃん)に明け暮れた日々。仕事もした、基本給より残業代の方が多かつたりして。

『3回目三十六歳』子どもが3人、ピーチクパーチク。仕事も忙しく家を省みず。でも子ども達と楽しく遊んだかな。

そして、『4回目四十八歳』を迎える。何かおかしい混沌の世の中。事件・事故に不況と問題の多い時代、時の流れがすこく早く忙しい。

過ぎ去つた時間は顧みず、家族全員健康で何事もなく『マイペース』で暮らす事が抱負かな。

あたりの前のことを あたりに

北二区 鈴木光芳
(昭和34生まれ)

私も早いもので四十八歳



新年の夢

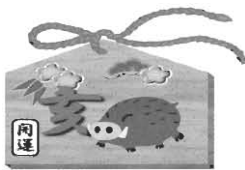
北二区 高橋 敏広
(昭和34生まれ)

体力の衰えを感じております。記憶を思い出せなかつたり、視力が下がつてきたり、ちよつと歩いただけでも足腰がいたくなつて大変な思いをしております。

楽しみと言つても別に無く、お風呂に行つたり、楽しく飲んだり、テレビを見たりするぐらいで、世間でよく言う中年です。

今は腹が出てきて、最近話題の「メタボリックシンドローム」が心配な悩みです。

健康には十分注意をしながら無理せず、楽しく思いやりがあり、あたりの前のことを、あたり前にできる年男でありたいと思います。



平成十九年「年男」まず我が身の健康を考え、規則正しい生活を心がけ、健康な身体で仕事をしていきたいと思つております。そして好きな趣味も続けられたら嬉しいと思います。

【昭和34年(1959年)のできごと】・テレビ普及率24% 日本テレビ、カラー放送開始。・伊勢湾台風 死者4,697人。・皇太子(現天皇)御結婚、テレビ急速に普及。・水俣病が熊本・新潟で社会問題化。・少年マガジン、少年サンデーが創刊。・流行語：消費は美德。乗車拒否。テレビでは、月光仮面、まぼろし探偵、鉄腕アトム、怪人二十面相などが人気。

新年の抱負

北三区 佐藤 正男
(昭和34年生まれ)



年男の原稿依頼が来た。「えー早いもので、4巡目か。」中味が何も成長せずに、時間だけが足早に過ぎたように、空恐ろしい。

特にこの十二年間は無我夢中というのが実感である。振り返ってばかりいられない。これから充実した5巡目を過ごすために、
①健康管理をしっかりする。(タバコを吸わないため太ってしまった)
②人の意見をしっかりと聞き、最低この二つを肝に銘じ、初心に戻り、一歩前進する平成十九年にしたい。皆様、叱咤激励を。

じゅんぼ

丁亥(ひの)

何事にも積極的に

北三区 土屋忠治
(昭和34生まれ)



今年は4度目の年男ということ、新年にあたっての抱負を考えてみましたが、やはり、「健康」と「家庭円満」かなと思います。時節ですが、子どもとキャッチボールをしたり、走ったりすることがありますが、最近では小4の息子に

ついて行くのがやつとで、体力の減退を実感しております。そこで、子どもとの交流も兼ねて毎朝のジョギングを計画中です。もし、走る私たちを見かけたら、お声をかけてください。さて、引込み思案な私ではありますが、これからは猪のよう、「猪突猛进」、何事にも積極的に挑戦していくことを心がけていきたいと思えます。



「健康第一」

北三区 山崎 誠
(昭和46年生まれ)

いよいよ3回目の年男を迎える事となりました。まだまだ先の事だと思っ

ていたのですが、早いものですね。

三十歳代も半ばになると、若い頃のように無理が効かなくなっている事に気が付き愕然とする事が多々あります。「昔はこの位は平気だったのに：」本人としてはまだ若いつもりでいるのですが、無理できませんね。ここ数年の会社での健康診断でもそうです。以前は、全く問題なしだったのが、年を追うごとに「要観察」の文字がちらほらと。来年は特に健康に気を付け、次の健康診断では「問題無し」となるよう努力したいと思えます。

今、思っていること

北三区 本間 和彦
(昭和46年生まれ)

日々の生活に追われる中、突然の原稿依頼は、「新年にあたっての夢や抱負」との事でした。しかし、改めて考えても



何も思い浮かばない。今年を振り返ろうとしたが、それすらもままならない。色々考えたが、今一番の夢は、子どもの成長だと思える。大人は一年ではたいして変わらないが、子どもは大きく成長する。去年の今頃は：などと考えるのが一番楽しい。将来どんな大人になってくれるのか不安もあるが、楽しみの方が大きい。まだまだ先は長い。親として頑張っていきたい。



【昭和46年(1971年)のできごと】・テレビ普及率82%、カラー42%・沖縄返還調印式・ニクソンショック、1ドル360円から変動変動相場制へ。・日清カップヌードル新発売。・電卓平均5万円、49年には1万円を割る。・空前のボウリングブーム。・小柳ルミ子・わたしの城下町、天地真理・水色の恋、南沙織・17才。・8時だ全員集合、視聴率50.4%。

【平成18年(2006年)】流行語大賞：イナバウワー 世相を表す漢字：命 悠仁親王誕生 いじめ、自殺が社会問題化。



よし、おっきい賞品もらって母ちゃん喜ばすぞ (夏祭り)



いぎいき先生のおかげで、覚えが早い。(盆踊り練習)

顔いっぱい06' あの 場面

- 市連合ソフトボール大会 (7月9日)
- みんなでピアパーティー (8月5日)
- 北区夏まつり・盆踊り大会 (8月6日)
- 地区レクリエーション大会 (8月27日)
- 分館対抗駅伝大会 (11月5日)



それで、こんなに上手に踊れました。拍手～(盆踊り)



さすが諭さん、2打席連続ホームラン (市連合ソフト)



柏倉はつ子さんをこんなに近くで (歌謡ショー)



若者よ、力合わせてヨイショー (地区レク)



ぐい〜、力強き、地域の原動力 (地区レク)



岩月陸くん、凛々しく炬火に点火はばたけ、いなほっ子 (地区レク)

頑
禪は瑞希さんから秀弘さんへ
張れ、青壮年会のホープ



今年も魅せてくれました。
鉄人、土屋博明さん。



志保さん、大きなストライドは
お父さん(博明)そっくり



軽くピョン・ピョン、バネのよう。息もピッタリ(地区レク)

いきいき笑 あの 感動



皆さんのがんばりは感動もの。(駅伝四位)



和やかに15年目のボウリング大会。



行け～頼む、公男さんから郁子さんへ



写真部月山一泊。山小屋は快適そのもの。でも、自然のままが良いと思うんだけど…。



私いただく人、野外で生ビール
た～まりません、最高です。(1118.8.5)



注ぐときはね、こうするんですよ
(某さん)ずっと、やってて良いよ。

盆踊り大会を振り返って 賑わいは知恵の持ち寄りと協力で

「北区盆踊り大会を盛り上げたい」「このままでは地域の皆さんが離れていく」

そうした危機感から、みんなに楽しんでもらえるイベントにしようと見直しを行い、昨年は「五十嵐正男歌謡ショー」を企画、大変な好評をいただきました。今年も本会役員や、売店係の皆さん、渡辺茂吉公民館長さん、各区婦人会長さん、各種団体と話し合いを重ね実施にあたりました。今年の特徴としては例年



こんなに素晴らしい生の歌声を、目の前で…。「柏倉はつ子」歌謡ショー



夜まで営業時間を大幅延長、生ビールや無料ポップコーンなどもあり、お客さんも大満足。

踊りが始まる頃には売店が終了していたため、店全体の開店時間及び終了時間を遅らせ、お客さんが多く訪れる時間帯はお店が開いており、楽しく飲んだり食べたりすることが出来るよう時間を設定しました。婦人会からは生ビールの販売も協力していただき、青壮年会でもポップコーンを無料で提供（機器は北公民館の厚意で貸与）したり、会場に訪れた人たちから喜んでいただきました。また、今年の歌謡ショー

では、郷土の歌い手、柏倉はつ子さん（菊地義盛さんの師匠）に出演を依頼。本格的な音響と見事な歌唱力を堪能していただきました。今回改めて、関係者の知恵の持ち寄りと協力が全体の賑わいにつながっていくということを実感することができました。地域の皆様来年もどうぞよろしくお願います。（会長 秋谷栄）

最終回逆転に涙す

◆◆市連合ソフト大会◆◆

第32回

大会が七月九日、老野森グラウンドで開催され、19チームが参加。

北チームは南町青壮年会と対戦

終盤までベテラン山崎論さんの2打席連続ホームランなどで順調に進み、守ってもセンター渡辺勉さんのファインプレーなどで締まったゲームに。しかし、最終回ノーアウト満塁を生か



泣くな、胸張れ、ソフト？は筋書きのないドラマ

せず、逆に一挙6点を奪われ、終わってみれば6対9。誠に残念な結果となり、来年こそは優勝をと誓い合いました。試合後は公民館で恒例の反省会、ビールに焼肉で親睦を図り、大いに盛り上がりました。

(ソフト部長 鈴木光芳)

今年は三陸

◆将棋部一泊練成会◆

十一月十二日、北青壮年会将棋クラブ部員七名は、各自の棋力向上をめざして、いや、いや、本心は、三陸の『海の幸』を求め、一路、南三陸志津川を目指した。生憎の雨の中、車中三時間三十分（やはり遠かつ

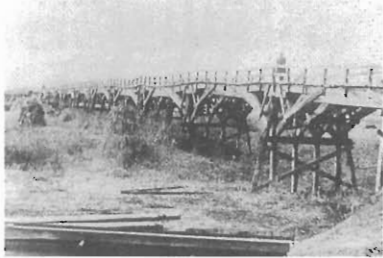


山の幸から、海の幸へ、毎年幸せいっぱい。

た！）、ようやく民宿に到着。まずはビールで乾杯。早速、当然のことながら将棋盤に向き合った。熱戦、激戦多数。中には珍？いや爆笑名人戦も……。午後六時、疲れた頭を、癒すため、お楽しみの夕食休憩。テーブルから溢れるほどのご馳走、三陸の海の幸を心行くまで堪能しました。みなさん満足まんで、夕食後は、決戦続行。夜の更けるのも忘れて将棋に、また、日本女子バレーボールのテレビ観戦に、そして、コミュニケーションに、大変有意義な練成会でした。来年は、みなさんも一緒にいかがですか？

(将棋部長 土屋政美)

ちょっと昔の蔵増 《写真で見る村山橋》



1902年(明治35年)木橋完成。県の2か年事業。



1929年(昭和4年)にトラス(鉄)橋完成。後に老朽化し、バスが折り返し運行した事も。



1979年(昭和54年)現橋完成。村広水も添架。

この人

北1区

菊地 義盛 さん



義盛さんは、昭和三十年生まれの五十一歳のお母さん、奥さん、息子さんの4人家族です。

仕事は清掃会社に勤め、一般の清掃をはじめ、産業廃棄物から医療産廃と幅広い

うで、かなりハードなお仕事ですが、無事故で頑張っております。

趣味はカラオケと釣り。菊地さんといえばプロ顔負けの歌唱力で、その素晴らしい歌声を知らない人はいないほどです。今年の北区盆踊り大会でもその歌を披露し、場内の多くの人を魅了しました。

く携わっているそうです。

朝、出勤は早く、会社の車を点検し、近辺で一日320kmを走る時もあるそうです。

それから、人の噂では、料理もプロの腕前とか。

青壮年会に入会して二年。現在理事として活躍中。部活はソフトボール部に所属。大会で優勝した経験もあり、その時が今でも一番の思い出になっているとおっしゃっていました。

青壮年会の活動について伺ったところ、「多くの方が入会し、部活動にも入部しますます活性化するといいなあ!」、それから、「夢だけど、御輿を作ってみるなでワッショイ、ワッショイすっだいなあ。」、夢が現実になるように、そう期待!

(聞き手 土屋政美)

これから行事

- ◎1月21日(日) 北区新春麻雀大会(北公民館)
- ◎1月28日(日) 地区青壮年会ソフトボール大会
- ◎2月4日(日) 地区冬季レクリエーション大会
- ◎2月4日(日) 市連合将棋大会
- 市連合ボウリング大会
- ◎2月11日(日) 祝日
- 北区新春将棋大会
- ◎2月25日(日) 北青壮年会平成18年度総会

あともかき

- ▽平成12年に青壮年会に入会して6年、平成15年、野山を歩こう会が発足し、副会長を務めさせていただき3年。思えば、野山を歩こう会の発足を契機として
- *****
- ☆第35回詰め将棋の回答
- ▲8八金 △同 玉
- ▲9七角 △9九玉
- ▲8九金 △同 玉
- ▲5七桂 まで七手詰め

様々な出会いに恵まれたことに感謝し、これからも大切にしていかなければと常々考えています。

一年の過ぎるのは早く、まもなく今年も暮れようとしています。今年を振り返り、来年の計画でも練ります。 (野山会 佐藤賢彦)

▽去年から市民文化会館に勤務していますが、初めて文化行政を担当しビックリしたことがあります。

現在29の文化団体が会館で活動しており、特に女性とお年寄りが元気なことです。朝から女性コーラスグループ、夜はダンスサークルなど活発な活動をしています。私も趣味の将棋などを深めなければと考えさせられています。

皆さんもこれからのために何か趣味をもって活動をしていきましょう。

(編集委員長 後藤賢次)

がんばれモンテ



編集委員

委員長：後藤賢次 ・常任委員：森山美典、今田仁志、東海林隆 ・区選出委員：1区 土屋政美、2区 土屋忠幸、3区 土屋博明 部選出委員：ソフト部 鈴木光芳、将棋部 土屋政美、麻雀部 山崎稔、書道部 佐藤俊彦、写真部 大木富雄、野山を歩こう会 佐藤春彦

表紙題字 書道部長 土屋晃竹(博明)書